

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の分析結果と改善方策(概要)

※ 全国平均値を特に上回った内容を成果、下回った部分や正答率が低く全国平均値との差が小さい内容を課題として指導改善の方策をまとめました。

(詳細はP5～P13を参照)

＜小学校＞

教科	成果	課題	指導改善の方策(概要)
国語	① 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むこと。	① 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと。	➡ 事実から情報を適切に取り上げ、関係付けて書くために、キーワードを見つけて囲んだり、線でつないだりしながら考えるような効果的な指導を行う。
	② 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすること。	② 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと。	➡ 目的を明確にした上で、話題、内容、構成の仕方などに注意しながら、表現に即して重要な点を的確に押さえて読むような指導を行う。
		③ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。(同音異義語)	➡ 同音異義語の指導に当たっては、同じ音からいくつかの熟語を思い浮かべ、それぞれの意味を考えて文脈にふさわしい熟語を選んで書かせる指導を行う。
算数	① 棒グラフから、2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍かを読み取ること。	① 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を言葉や数を用いて記述すること。	➡ 二つの合同な台形で作られた形について、面積の求め方を考察したことを式で表現し、面積の求め方について説明し合う活動を取り入れるような指導を行う。
		② 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること。	➡ 計算の順序についてのきまりは、具体的な場面と関連付けながら確実に理解できるような指導を行う。
	② 二つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて一人当たりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を言葉や数を用いて記述すること。	③ 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を言葉を用いて記述すること。	➡ 商が同じになる幾つかの除法の式を基に、除法に関して成り立つ性質を見いだす活動を取り入れた指導を行う。
		④ 示された場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、所要時間の求め方と答えを言葉や数を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断すること。	➡ レジに着くまでにかかる時間を求め、条件に当てはまるかどうかを判断する活動を取り入れた指導を行う。

＜中学校＞

教科	成果	課題	指導改善の方策（概要）
国語	① 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと。	① 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと。	➡ 話合いをする際には、話合いの途中で、発言の仕方の留意点を確認したり、到達点に向けて取り上げる話題の絞り込み方を考えたりするなど、話合いの仕方を見直しながら進めるような指導を行う。
	② 文章の展開に即して情報を整理し、内容を伝えること。	② 封筒の書き方を理解して書くこと。	➡ 手紙の形式の場合、相手の名前を他の文字より大きく書くことなど、相手への敬意についても考えさせるような指導を行う。
	③ 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと。		
数学	① 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。	① 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。	➡ 平均値が代表値としてふさわしいかどうかをデータの分布の様子から検討し、判断する場面を設定し、データの特徴を捉えて、説明すべき事柄とその根拠を明確にして説明する場面を取り入れた指導を行う。
	② 与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えること。	② 反比例の表から、 x と y の関係を式で表すこと。	➡ 反比例の表から、 x の値とそれに対応する y の値の積が常に一定の値になり、その値が比例定数であることを確認するなど、表から式を求めることができるような指導を行う。
	③ 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。	③ グラフ上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈すること。	➡ 表で与えられた情報を基に、使用年数と総費用の関係をグラフに表し、グラフの横軸は使用年数、縦軸は総費用を表すということを、丁寧に確認しながら解釈させるような指導を行う。
英語 聞くこと、読むこと、書くこと	① まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解すること。	① 文の中で適切に接続詞を用いること。（but）	➡ 二つの文の意味を考えた上で、適切な接続詞を用いて一つの文を作らせる活動や適切な接続詞を用いて主節に導く従属節を作文させる活動などを取り入れた指導を行う。
	② 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ること。	② 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ること。	➡ 情報を正確に聞き取るためには、英語の音声の特徴を踏まえて、事実や出来事などについての必要な情報を正しく理解する必要がある。教師が自然な口調の英語を用いるようにして話すなど、日常的な「聞くこと」を通して理解する活動を繰り返し行う。
	③ 文の中で適切に接続詞を用いること。（if）	③ 一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くこと。	➡ 文を正しく書くためには、言語材料の定着が必要である。対話や文章の流れからふさわしい文の形式や時制を考えさせる活動などを取り入れた指導を行う。
英語 話すこと	① 与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すこと	① 聞いて把握した内容について、やり取りすること。	➡ 目的や場面、状況を意識した具体的な課題を設定し、まとまりのある内容を話すなど、思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動を意図的に取り入れた指導を行う。